

I. 二本松市の概要

1. 位置

本市は、県庁所在地の福島市と郡山市の間に位置し、市の中心から国道4号で福島・郡山市ともに約30分程度の距離にあります。また、国道459号は、国道114号を介して、太平洋側の浪江町へと伸びています。

市域は南北約17km、東西約36kmと東西に長い形で、面積は344.42km²です。

地勢は西部の安達太良山麓、中央部の平坦地、東部の阿武隈地域の3地帯に分類されます。西部の安達太良山麓は、奥羽山系に属する安達太良山(1,699.6m)の麓に広がる地域です。中央部の平坦地は、圏域を北流する阿武隈川を中心とする地域で、標高は200～300m程度です。東部の阿武隈地域は、阿武隈山系の北部に位置し、最も高い山は日山(天王山1,057.6m)であり、全体に丘陵状の起伏の多い地形となっています。

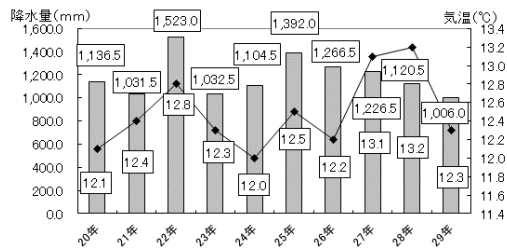


2. 気候

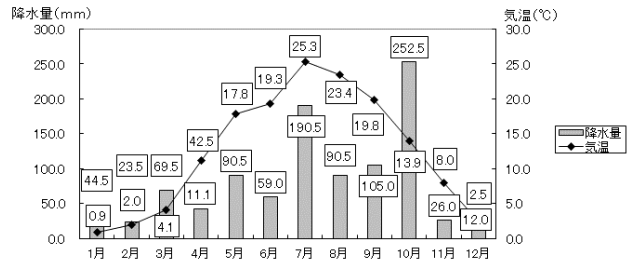
本市の過去10年間(平成20年—平成29年)の平均気温は12.4度で、平均年間降水量は1,170mmと全国平均の約1,700mmと比較すると少なくなっています。1月、2月の寒冷期には平均気温が1～2度程度となり、最低気温でマイナス5度を下回る日もあり、最高気温は7月から9月上旬にかけて30度を超える日が続くことがあります。

風は春先に向け、特に強い日もありますが、台風等による風雨の被害も比較的少なく、全体としては穏やかといえます。

【気温・降水量の推移（年間平均値）】



【月別気温・降水量の推移（平成 29 年）】



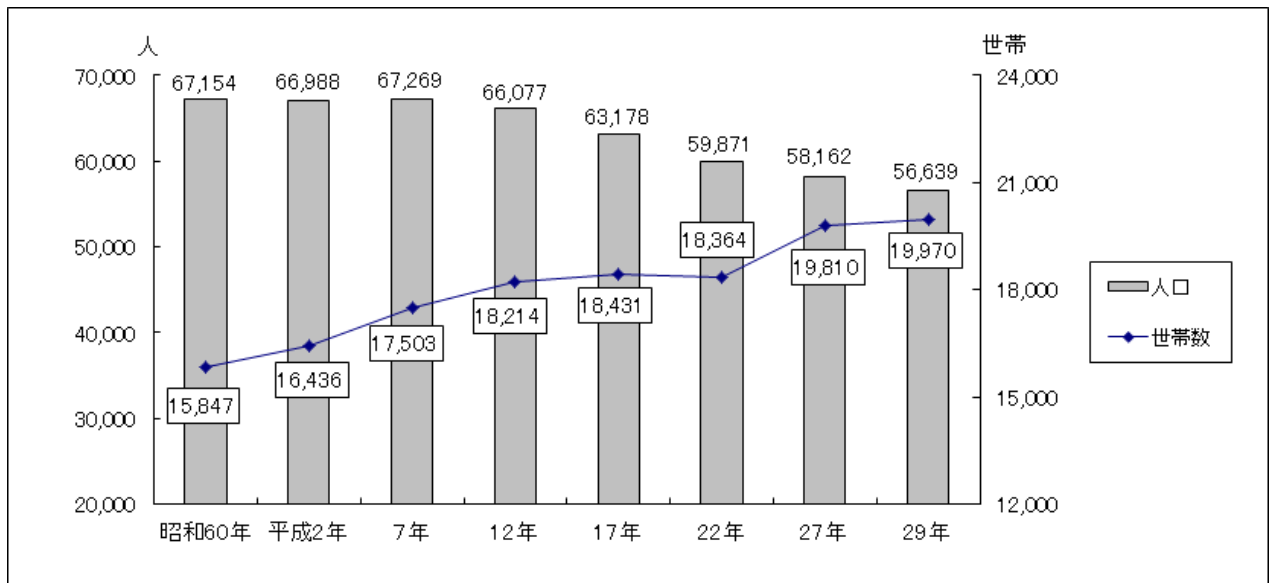
（資料：気象庁：気象統計情報）

3. 人口・世帯数

本市は、平成 17 年 12 月 1 日に旧二本松市・安達町・岩代町・東和町が合併し誕生しました。平成 29 年 10 月 1 日現在の人口は 56,639 人、世帯数 19,970 世帯となっています。

近年、人口は減少傾向にあるため、中心市街活性化や良好な拠点機能整備などによる宅地開発を進めることで定住人口の増加を図ると共に、子どもを産み育てやすい環境の整備などにより人口定住化を図っています。

【人口・世帯数の推移】

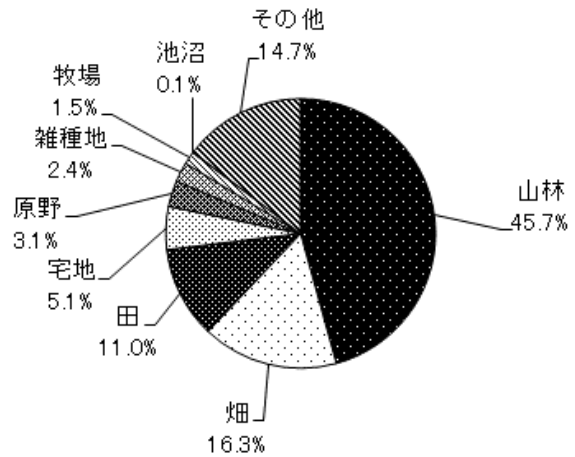


（資料：現住人口調査：各年 10 月 1 日）

4. 土地利用状況

本市の面積は、合併に伴い 344.42 km²となり、そのうち 45.7%を山林が占め、次いで「畑」「田」と続きます。
安達太良山をはじめとする豊かな自然を背景にした環境といえます。

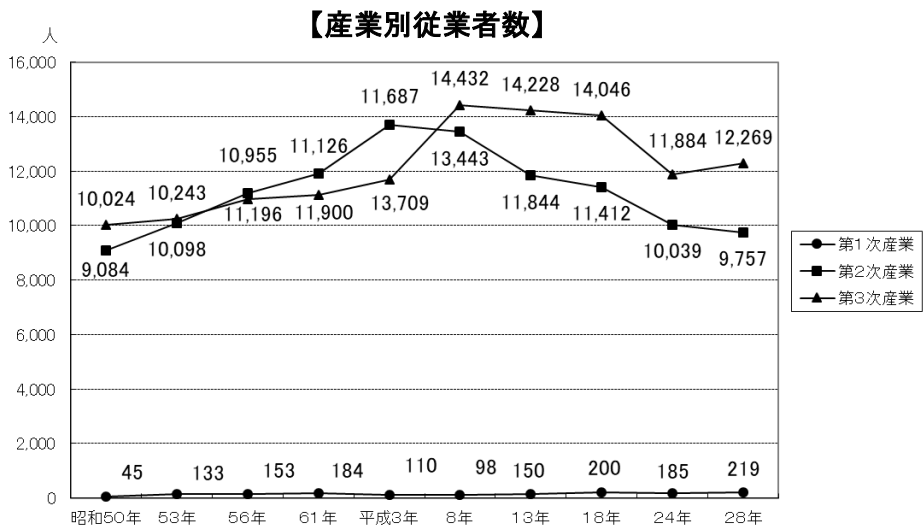
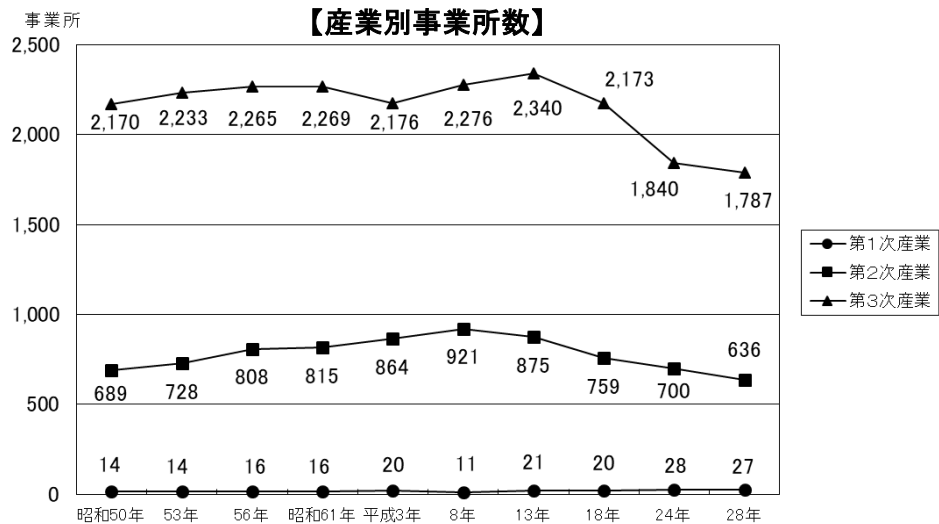
【土地利用の状況】



(資料)

5. 産業別の事業所数と従業者数の推移

本市の産業別従業者数は、総人口の減少を受け、平成8年以降減少傾向にあります。第1次産業は概ね横ばいであるものの、第2次、第3次産業ともに減少しています。

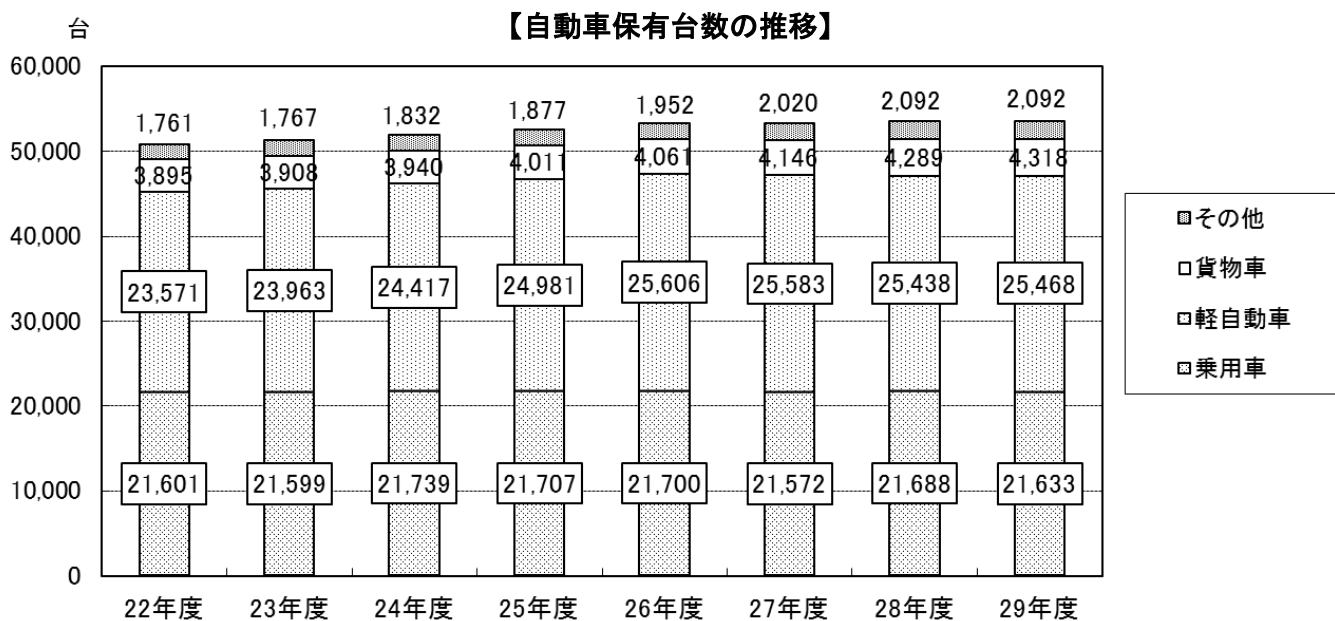


(資料：事業所・企業統計調査)

6. 交通

自動車保有台数は年々減少しておりましたが、平成 23 年度からは若干の増加傾向にあります。

平成 29 年度において、乗用車と軽自動車の合計は 47,101 台で、1.2 人に 1 台、1 世帯で 2.4 台の自動車を保有している状況にあります。



(資料：東北運輸局福島運輸支局 福島県内市町村別自動車数調)



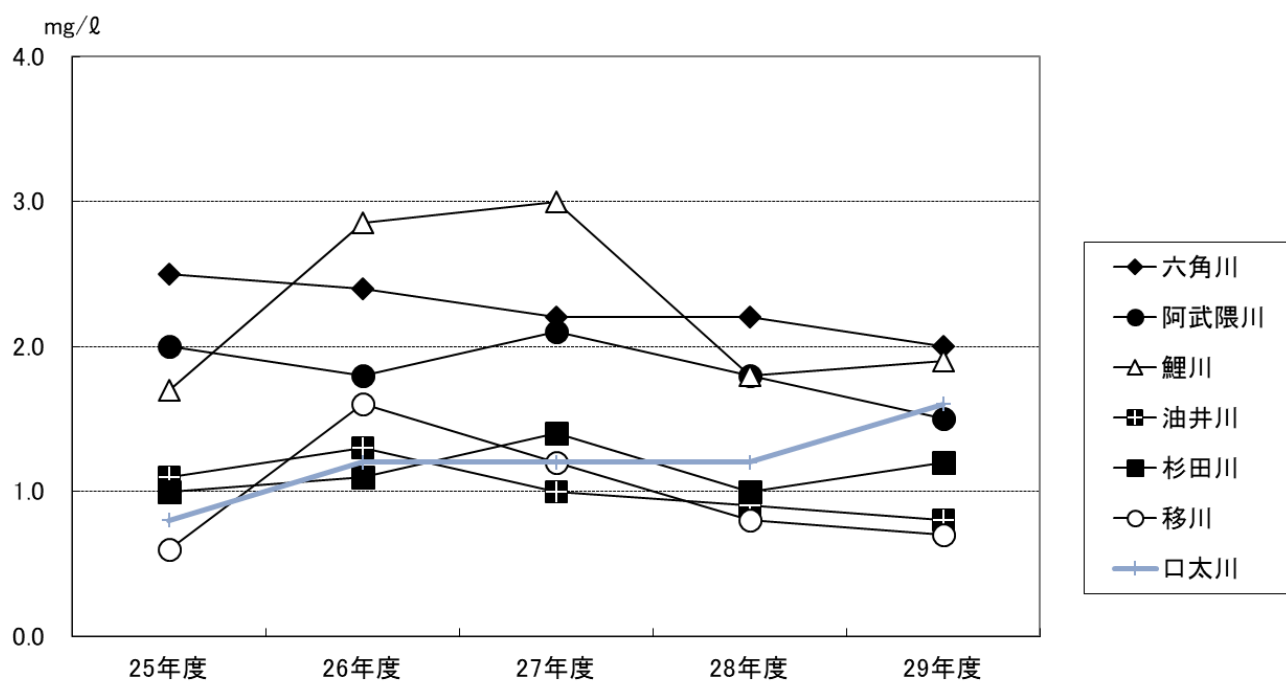
7. 河川水質

阿武隈川には達成することが望ましい基準として、法に基づく環境基準、BOD（生物化学的酸素要求量）が 3mg/ℓ以下と定められています。その他の河川に対しての基準は定められていませんが、環境基準を大きく下回っている河川が多く、汚濁負荷の少ない良好な状態が維持されています。

【河川水質調査結果の推移（BOD）】

水系	測定箇所	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	環境基準
六角川	塞の神橋	2.5	2.4	2.2	2.2	2.0	3 以下
阿武隈川	智恵子大橋	2.0	1.8	2.1	1.8	1.5	
鯉川	鯉川橋	1.7	2.9	3.0	1.8	1.9	
油井川	油井川橋付近	1.1	1.3	1.0	0.9	0.8	
杉田川	杉田橋	1.0	1.1	1.4	1.0	1.2	
移川	移川橋付近	0.6	1.6	1.2	0.8	0.7	
口太川	口太橋	0.8	1.2	1.2	1.2	1.6	

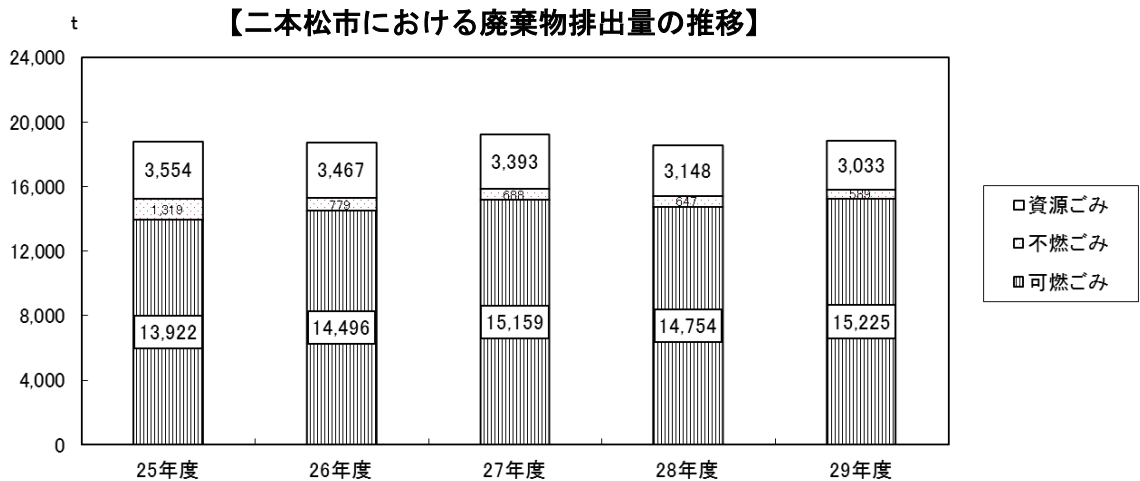
(単位：mg/ℓ)



(資料：二本松市生活環境課)

8. 廃棄物

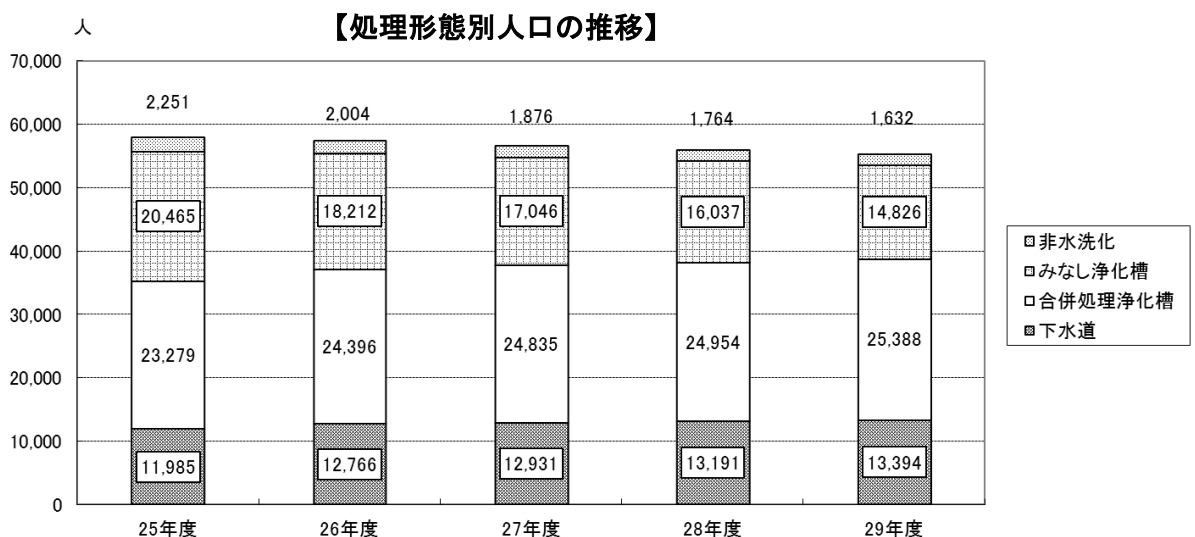
本市では、5種19分別が実施しています。ごみの指定袋は、5種類（可燃ごみ、ビニール・プラスチックごみ、プラスチック製容器包装、破碎するごみ、埋立てごみ・衣類）として、ごみの減量化と資源化に取り組んでいます。



(資料：安達地方広域行政組合)

9. 下水道・合併処理浄化槽

本市の下水道は、流域関連公共下水道事業（二本松、安達処理区）及び特定環境保全公共下水道（岳、岩代処理区）により水環境の保全を図っています。また、下水道の未整備地域については、平成4年度から合併処理浄化槽の新設、くみ取り便槽や単独処理浄化槽からの転換を推進するため補助を行っています。



(資料：二本松市生活排水処理基本計画：各年3月31日現在人口)

10. 動植物の概況

本市及びその周辺では、次のような希少な動植物が確認されています。多様で豊かな自然が残されていますが、同時にその保護がなされなければなりません。

(1) 植物

【注目すべき植物種】

分類群	科名	種名	ふくしまレッドリスト
シダ植物	ミズニラ	ミズニラ	準絶滅危惧
種子植物	ヒノキ	ヒノキ	準絶滅危惧
		イブキ	準絶滅危惧
	イチイ	イチイ	準絶滅危惧
		キャラボク	準絶滅危惧
	ブナ	アラカシ	準絶滅危惧
		ツクバネガン	絶滅危惧ⅠB類
	イラクサ	イラクサ	準絶滅危惧
	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ	絶滅危惧Ⅱ類
	タデ	ノダイオウ	絶滅危惧ⅠB類
	ナデシコ	ワダソウ	絶滅危惧Ⅱ類
	クスノキ	ヤマコウバン	準絶滅危惧
	キンボウゲ	レンゲショウマ	準絶滅危惧
	ツバキ	サカキ	準絶滅危惧
	オトギリソウ	オクヤマオトギリ	絶滅危惧Ⅱ類
	アブラナ	イワハタザオ	絶滅危惧Ⅱ類
	ユキノシタ	クロクモソウ	絶滅危惧Ⅱ類
	バラ	キビナワシロイチゴ	準絶滅危惧
	マメ	ケヤブハギ	絶滅危惧Ⅱ類
		イヌハギ	絶滅危惧ⅠA類
	カエデ	オオイタヤメイゲツ	準絶滅危惧
	ミソハギ	ヒメミソハギ	絶滅危惧ⅠB類
	ツツジ	イソツツジ	準絶滅危惧
	サクラソウ	サクラソウ	絶滅危惧ⅠB類
	モクセイ	ヒイラギ	準絶滅危惧
	リンドウ	オヤマリンドウ	準絶滅危惧
	シソ	ツルカコソウ	絶滅危惧ⅠB類
	ゴマノハグサ	エゾゴメグサ	情報不足
		イヌノフグリ	絶滅危惧ⅠB類
	オミナエシ	カノコソウ	絶滅危惧Ⅱ類
	キク	オナモミ	絶滅危惧ⅠA類
	ユリ	マルバサンキライ	絶滅危惧Ⅱ類
	カヤツリグサ	ヤマタヌキラン	準絶滅危惧
		ミヤマクロスゲ	絶滅危惧Ⅱ類
		ヌイオスゲ	絶滅危惧Ⅱ類
	ラン	エビネ	絶滅危惧Ⅱ類
		キバナノアツモリソウ	情報不足
		スズラン	絶滅危惧Ⅱ類
		アケボノシュスラン	準絶滅危惧
		コフタバラン	絶滅危惧Ⅱ類
		トキソウ	準絶滅危惧

(2) 動物

【注目すべき哺乳類】

区分	科名	種名	ふくしまレッドリスト
哺乳類	トガリネズミ	カワネズミ	情報不足
	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	情報不足
	ヤマネ	ヤマネ	情報不足
	ネズミ	スミスネズミ	情報不足
	イタチ	イイズナ	情報不足
オコジョ		情報不足	

【注目すべき鳥類】

区分	科名	種名	ふくしまレッドリスト
鳥類	キジ	ウズラ	絶滅危惧ⅠA類
	サギ	ヨシゴイ	絶滅危惧Ⅱ類
		オオヨシゴイ	絶滅危惧ⅠA類
		ササゴイ	準絶滅危惧
		アマサギ	準絶滅危惧
		コサギ	準絶滅危惧
	クイナ	ヒクイナ	絶滅危惧ⅠB類
		バン	準絶滅危惧
	カッコウ	カッコウ	準絶滅危惧
	シギ	ハマシギ	準絶滅危惧
	カモメ	コアジサシ	絶滅危惧ⅠB類
	タカ	ハチクマ	準絶滅危惧
		ハイタカ	準絶滅危惧
		オオタカ	絶滅危惧Ⅱ類
		サンバ	準絶滅危惧
	フクロウ	アオバズク	絶滅危惧Ⅱ類
	ハヤブサ	チョウゲンボウ	準絶滅危惧
		ハヤブサ	絶滅危惧Ⅱ類
	サンショウクイ	サンショウクイ	準絶滅危惧
	カササギヒタキ	サンコウチョウ	準絶滅危惧
	モズ	チゴモズ	絶滅危惧ⅠA類
		アカモズ	絶滅危惧ⅠA類
	ヒバリ	ヒバリ	準絶滅危惧
	ヨシキリ	オオヨシキリ	準絶滅危惧
		コヨシキリ	準絶滅危惧
	セッカ	セッカ	準絶滅危惧
	ヒタキ	マミジロ	準絶滅危惧
		トラツグミ	準絶滅危惧
		クロツグミ	準絶滅危惧
		アカハラ	準絶滅危惧
		コサメビタキ	準絶滅危惧
	ホオジロ	ホオアカ	絶滅危惧Ⅱ類

【注目すべき両生類・爬虫類】

区分	科名	種名	ふくしまレッドリスト
両生類	サンショウウオ	クロサンショウウオ	準絶滅危惧
		トウホクサンショウウオ	準絶滅危惧
	イモリ	アカハライモリ	準絶滅危惧
	ヒキガエル	アズマヒキガエル	準絶滅危惧
	アカガエル	ニホンアカガエル	準絶滅危惧
	アオガエル	モリアオガエル	地域個体群
		カジカガエル	準絶滅危惧
爬虫類	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	準絶滅危惧
	ナミヘビ	ジムグリ	情報不足
		ヒバカリ	準絶滅危惧
		シロマダラ	準絶滅危惧
		ヤマカガシ	準絶滅危惧
	クサリヘビ	ニホンマムシ	準絶滅危惧

【注目すべき魚類】

区分	科名	種名	ふくしまレッドリスト
魚類	ヤツメウナギ	スナヤツメ	絶滅危惧ⅠB類
	ウナギ	ニホンウナギ	情報不足
	サケ	イワナ	地域個体群
	コイ	タナゴ	絶滅危惧ⅠB類
	ドジョウ	ドジョウ	情報不足
		ヒガシシマドジョウ	準絶滅危惧
		ホトケドジョウ	絶滅危惧Ⅱ類
	ギギ	ギバチ	絶滅危惧ⅠB類
	メダカ	ミナミメダカ	絶滅危惧ⅠB類
	カジカ	カジカ*	絶滅危惧ⅠB類

【注目すべき昆虫類】

区分	科名	種名	ふくしまレッドリスト
昆虫類	コオイムシ	タガメ	準絶滅危惧
	ハンミョウ	カワラハンミョウ	絶滅危惧Ⅱ類
	ハムシ	オオルリハムシ	準絶滅危惧
	アゲハチョウ	ヒメギフチョウ	絶滅危惧Ⅰ類
	シロチョウ	ツマグロキチョウ	準絶滅危惧
	タテハチョウ	ヒョウモンチョウ	絶滅危惧Ⅱ類

※ふくしまレッドリスト（2017年版）とは、福島県内に生息・生育する絶滅のおそれのある動植物種を、絶滅の危険性に応じて以下のカテゴリーに分類し、リストとしてまとめたものです。

- 絶滅危惧Ⅰ類 : 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。
- 絶滅危惧ⅠA類 : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
- 絶滅危惧ⅠB類 : ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
- 絶滅危惧Ⅱ類 : 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のカテゴリーに移行することが確実と考えられるもの。
- 準絶滅危惧 : 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの。
- 情報不足 : 評価するだけの情報が不足しているもの。
- 絶滅のおそれのある地域個体群 : 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

(3) 外来生物の状況

日本古来の在来生物の存在を脅かすものとして、外来生物の存在が問題となっています。外来生物は海外から入ってきた生物であり、身近なところで生育域を拡大しています。

平成 16 年度に制定された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」では、特定外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止し、生物の多様性の確保、人の生命・身体の保護、農林水産業の健全な発展に寄与することを通じて、国民生活の安定向上に資することとされています。

市内では以下の特定外来生物が確認されています。

区分	種名	概況
植物	オオキンケイギク	黄色の目立つ花で、市内各所で見られます。道端や庭、花壇等にも植えられており、宿根と種で増えます。
	オオハンゴンソウ	市内各所で見られます。耕作放棄地や土手などに集団で黄色の花を咲かせます。宿根と種で増えます。
	アレチウリ	市内各所の道路法面や荒地で見られ、種子で繁殖します。
哺乳類	アメリカミンク	市内で目撃情報があります。
	アライグマ	市内で目撃情報があります。
鳥類	ガビチョウ	市内各所で確認されています。
両生類	ウシガエル	市内の一部区域で生息が確認されています。
魚類	ブラックバス	市内の河川、沼などで確認されています。
	ブルーギル	